茅ヶ崎市議会議員 無所属・一期目

# 木山こう

活動報告 2020年10月~12月

子どもに ッケを まわさない!

茅ヶ崎市民の皆様こんにちは、木山こうじです。茅ヶ崎市民の皆様に2020年10月~12月の活動報告をさせていただきます。 令和2年11月28日から令和2年第4回茅ヶ崎市議会定例会が開会し、会期22日間で12月18日に閉会いたしました。今回の議会では新

型コロナウイルス感染症の影響による事業の休廃止のための減額補正と、国庫補助を利用した市独自の施策として茅ヶ崎ローカル応援チケットの増刷分の補正(3億6,717万8千円)や、ひとり親世帯への給付金事業費(2億1,046万6千円)など新型コロナウイルス感染症対策に係る議案が集中いたしました。各諸議案について慎重な審議のもと、全ての議案に対し可決承認いたしましたことをご報告申し上げます。

## 新しい風!

一般質問でも取り上げました**ネーミングライツ(※)が始動いたします!** 中央公園のネーミングライツパートナーが、「第一カッター興業株式会社」 に決定し、令和3年4月1日から令和8年3月31日まで、中央公園の

愛称は「第一カッターきいろ公園」になります。なお契約金額は年額120万円(税込)となります。(正式名称の「中央公園」に変更はありません。) ※ネーミングライツとは … 施設等に企業名や商品名などを冠する愛称を命名する権利をいい、それで得た広告収入を当該施設の維持管理経費に充てるなど自主財源確保策として全国各自治体が活用しています。



# 新しい風!

令和2年5月より所属となりました広報広聴委員会(※)において、コロナ禍における新しい生活様式に対応しつつ、市民に開かれた議会にするべく我が会派から提案しておりました「議会報告会」のYouTube配信が決定いたしました!

運用方針等については今後の委員会で他市の先行事例等を参考にしながら協議してまいります。

\ 始まります! / YouTube

※広報広聴委員会とは… 議会活動のさまざまな事項を、市民のみなさまにお知らせする「議会だより」の編集をはじめ、議会報告会・意見交換会の企画・運営など議会の広報広聴活動の充実を図るため、地方自治法第100条第12項の規定に基づき、茅ヶ崎市議会会議規則の定めにより設置されている委員会です。













- 1982年 神奈川県横浜市生まれ
- 横浜国立大学教育学部附属横浜小学校 卒業
- 神奈川県 桐蔭学園 中学校 卒業
- 神奈川県 桐蔭学園 高等学校 卒業
- 私立 関東学院大学 法学部 卒業
- ■高校在学時、テコンドーと出会い真剣に練習を開始。 天性の運動神経の助けもあり、2001年WTF全日本学生 テコンドー選手権大会フェザー級チャンピオンとなる。
- ■同年、関東学院大学学長賞を受賞。
- ■その後、北京オリンピック (2008年開催) に向けた練習を本格的に開始。 遠征や合宿で国内のみならず海外にも度々渡り、経験を積む。
- ■2005年、北京オリンピック強化指定選手選考会フェザー級チャンピオンとなる。その功績が認められ、同年北京オリンピック強化指定選手に選出。
- ■その後、数々の試合を経て引退。
- ■引退後は、現役時代にお世話になった方の企業で社会生活を学ぶ。



1 憩いの場の創出について 茅ヶ崎漁港の管理等について

2 市民の安全・安心のためのまちづくりについて 交差点における車止めなどの安全対策について SNSを利用した道路等の修繕・管理体制について 3 コロナ禍の健康2次被害等について 引きこもりやフレイル等への対策について

\_\_\_\_\_\_\_ こちらの質問についてご報告いたします



QUESTION \_\_\_\_ 質問

外出を控える高齢者が増え、新型コロナウイルス感染収束後に「要介護状態に陥る高齢者が増加する」 ことにつながる。 本市における現状と課題を伺う。

## ANSWER

#### 答弁(市長)

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、令和2年2月下旬より、高齢者が集まる教室形式の介護予防事業等は中止にしております。また地域包括支援センターによる日常的な電話や訪問での相談等を実施しておりますが、相談件数につきましては、6月以降徐々に増える傾向にあり、感染症の影響だけでなく高齢者数の増加も含め、その推移を注視する必要があります。コロナ禍にあっても介護予防事業は重要であると考えており、感染拡大の長期化が危惧される中で、高齢者の健康づくりや介護予防をいかに効果的に進めていくかが本市に課せられた喫緊の課題であると考えております。

## QUESTION

#### 質問

認知症・フレイル対策として特に「人とのつながり」は非常に重要なポイントだと考えるが、その点の今後の対策について伺う。

## **ANSWER**

#### 答弁(福祉部長)

外出自粛が続く中、会話や交流といった人とのつながりは重要であり、新型コロナウイルスの蔓延が長期化した場合でも介護予防事業は必要な取組であると考えております。地域においても高齢者のサロン等の再開に向けて取り組んでいますが、12月に入り、ますます感染が拡大しており、思うように進んでいない状況にあります。市といたしましては、コロナ禍においても人とのつながりを大切にし、個別支援を中心に優先順位をつけながら取組を進めてまいります。

## QUESTION

#### 質問

新しい生活様式に対応しながら運動能力を落とさない施策やそれに必要な環境整備、また新型コロナウイルス感染症の収束 の兆しが見えた時、積極的に家から外に出るサポートをすることが重要であると考えるが、市の方針を伺う。

## ANSWER

#### 答弁(福祉部長)

コロナ禍における新しい生活様式を踏まえ、これまでの集合形式での教室に替わる取組の一例として、12月5日より市広報番組ハーモニアスちがさきで放映を開始している「えぼし麻呂とお茶の間体操」を通じて、高齢者の方が自宅でも介護予防体操を習得する機会としていただきたいと考えております。

また、市の介護予防事業を支えていただいている介護予防ボランティアにつきましても、活動の休止によりモチベーションの低下や 気力・体力の低下を危惧しております。今後も介護予防ボランティアに積極的に関わっていただけるよう、モチベーションの維持に 取り組んでまいります。

高齢者の外出を後押しするためには、外出先の一つであるミニデイ・サロンなどの感染対策の徹底はもとより、活動を支える介護予防ボランティアをはじめ、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会等の地域の関係者など、地域における人とのつながりを大切にしながら、高齢者が主体的に健康づくり・介護予防に取り組めるよう支援してまいります。



〒253-0006 茅ヶ崎市堤77-1 マリヴァノン1-203

|木山こうじ



インスタグラム・FB・ツイッターで日々の活動を 発信しています。お気軽にフォローお願いします!

ohttps://www.instagram.com/kiyamakoji/

https://www.facebook.com/koji.kiyama.7

https://twitter.com/kiyamakoji